

## 第 2 回中央区地域公共交通検討会議 要旨

日時	平成 26 年 1 月 21 日（火） 午後 2 時～午後 3 時 40 分	会 場	市役所本館 6 階 講堂
説明	<p>○都市交通政策課から、これまでの経緯及び生活交通改善プランの位置づけについて説明</p> <p>○中央区地域課から中央区生活交通改善プラン案について説明</p> <p>○新潟交通から BRT 当初導入時点のバス路線再編計画について説明</p>		
意見	<p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活交通改善プランの構成として、目標の下に基本方針とあるが、一般的な企業では経営方針があって、その下に目標があるのではないか。</li> <li>・ 絵に描いた餅にならないようしっかりと具体的な施策を盛り込んでいってほしい。</li> <li>・ バス路線再編計画の新設路線に赤坂町線、鍛冶小路線とあるが、どこにバス停を設けるのかを早めに発表していただき、住民の意見を聞いてほしい。</li> <li>・ 新潟交通は経営が厳しいなかで努力していると思うが、路線や便数を多く走らせるというやり方では解決できない。利用者を増やす必要がある。利便性向上と併せて、バスに乗ってみたいと思ってもらえるような取り組みが必要。</li> <li>・ 高齢者の運賃を一律安くするなどの取り組みが必要。</li> <li>・ 停留所をきめ細かく設置するべき。</li> <li>・ 路線を色分けするなどわかりやすい交通環境を整えるべき。</li> <li>・ 古町などの中心部の企業は税金に頼りすぎているので、もっと自らが努力するべき。郊外の企業の方が経営努力している。</li> <li>・ 新潟空港へのアクセスに関する施策も必要ではないか。</li> <li>・ バスの料金体系について、鳥屋野校区などでは同じ校区なのに料金が異なる。料金体系について配慮してほしい。</li> <li>・ 高齢者への対策を併せて考慮していただきたい。</li> <li>・ 市民の意識を変えていくには地道な活動を続けていくしかない。マイカー利用者がバスに転換するためには、バスを利用したいときに運行時刻がいつでもどこでもわかるような環境づくりが必要ではないか。</li> <li>・ 高齢者にバスを使ってもらえるような取り組みが必要ではないか。</li> </ul> <p>○新潟島に循環バスを走らせる会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民バス「にこにこ号」は今年度土休日の社会実験運行を行っている。収支率を向上させていくためにも是非次年度も継続できるように検討してほしい。また平日の増便についても実施したいと考えているので、後日要望したいと思う。</li> <li>・ 基本方針のなかに高齢者などの交通弱者が安全に通院や買い物ができるような対策を盛り込んでほしい。</li> <li>・ 新設路線の赤坂町線について、総合福祉会館に停留所を設けてほしい。</li> </ul> <p>○新潟市ハイヤータクシー協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央区の課題として「古町地区におけるタクシー乗り場の周知」と記載があるが、単なる周知ではなく、まずはタクシー乗り場を整備していただき、利用しやすい環境を整えたうえで、それを周知してほしい。そういったことを盛り込んでいただきたい。</li> <li>・ バスの利用促進も重要であるが、タクシーについても高齢者や身体障がい者など様々な方が利用していることから乗降しやすい場所にタクシー乗り場を整備してほしい。</li> <li>・ 結節機能の向上のなかにタクシー乗り場も入れてほしい。</li> <li>・ 基本方針に「安全で快適な道路環境整備」とあるが、タクシーの乗降がしやすいよう、道路に切り込みを設置していただきたい。</li> </ul>		

意見に対する考え方	<p>○市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活交通改善プランの構成については今後検討する。</li> <li>いただいたご意見を踏まえて、今後の改善プランに盛り込んでいけるようにしたい。</li> <li>空港アクセスについて、にいがた戦略プランでは長期的な施策として軌道系の交通を使った施策が盛り込んであるが、費用面など課題が多い。すぐできる短期施策として現在リムジンバスを走らせているところではあるが、いただいたご意見を参考にしていきたい。</li> </ul> <p>○新潟交通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新設路線のバス停については、しも町エリアにおいては約150mピッチで設けることを目標としている。詳細については地先の了解や社内での調整等が必要となるためもう少しお時間をいただきたい。</li> </ul>
その他 (主な質疑等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標のなかに「都心が賑わい、人々が集い・・・」とあるが、具其他的な施策案があれば教えてほしい。 ⇒商業面からみた施策、地域再生からみた施策など様々な計画がある。(市)</li> <li>新設路線はバスを集約してできるものなのか。BRT導入を待たずに運行できないのか。 ⇒新設路線は現行のバスの取り回し等を精査するなかで実施が可能になると判断したものである。(新潟交通)</li> <li>田中町や二葉町、西大畑等からのバスの運行本数が減少しており、以前から新潟交通に陳情書を出しているが、路線再編により良くなるのか。 ⇒田中町や二葉町や二葉町が不便地域であることは認識しており、改善に向けて関係者と協議しているところであり、協議が調い次第お示ししたい。(新潟交通)</li> <li>BRTに関して説明会を開催してきたということだが、主催者側としては、各説明会の雰囲気や市民の反応をどのように受け止めているか。 ⇒様々な形で説明会等を開催するなかで、会場によって雰囲気がそれぞれ変わったりしていたが、その場で発言された方については基本的に反対の意見が多かった。一方、アンケート調査などでは賛成の声もいただいている。(市)</li> <li>BRTの専用走行路を設けるのは不可能ではないか。 ⇒専用走行路については、平成22年から関係機関で可能性の検討をしてきているところである。今後、平成27年夏頃のBRT開業やバス路線再編、交通流動の状況を踏まえて現地検証等を重ねたうえで、課題を精査して可能性を判断していきたいと考えている。(市) BRT運用開始時点では既存の左側レーンを活用すると聞いている。将来的には色々な角度から検証したうえで、可能な場所については中央部に専用走行路を設置したいということで聞いている。絶対に中央部に専用走行路を設置するというわけではなく、様々な角度から検証しながらその可能性を迫っていききたいということで承知している。(警察)</li> <li>路線再編で乗換えになるが、乗り換えた場合の運賃について、現金の取り扱いはどうなっているのか。 ⇒現金利用の取り扱いについては様々な手法、様々なパターンがあり、現在検討しているところである。(市)</li> <li>中央区にも空白区域があるようだが、どのような状況なのか。 ⇒空白区域の状況については今後お示ししたい。(市)</li> </ul>
傍聴者	5名